

## 1 学校基本情報

種別	肢体不自由	学部・学科	小学部・中学部・高等部	児童生徒数	(男) 84 (女) 67	計 151
ホームページ	<a href="http://www.kumagaya-sh.spec.ed.jp/">http://www.kumagaya-sh.spec.ed.jp/</a>					
アクセス	秩父線大麻生駅より徒歩 25 分、明戸駅より徒歩 20 分					
教育課程等の特徴	本校の教育課程は心身の障害の状況や発達状況に応じて大きく4つに分けている。 ・類型・・・当該学年の指導内容・指導目標に準ずる教育課程 ・類型・・・授業の遅れ、学習進度を考慮し下学年の指導内容・指導目標も含めた教育課程 ・類型・・・知的障害の特別支援学校の学習を参考にした教育課程 ・類型・・・自立活動の目標・指導の手だてが主となる教育課程					
特色ある学校行事や部活動	・体育祭・文化祭は全校行事として一丸となり行っている。 ・熊特スポーツクラブや English Club で放課後の余暇活動を充実させている。 ・地域の社会人サークルや動物園などと地域交流を行っている。					
家庭・地域との連携	・授業公開を年5回実施。 ・近隣の小中高等学校との交流及び共同学習を行っている。 ・「アートで築こう地域の輪」活動で児童生徒の作品を地域の事業所に展示している。 ・寄宿部の広報紙「おかえり」を地域住民に配布している。					
進路について	・福祉的就労 18 名 (就労継続 B 型 1 名、施設入所 5 名、在宅 10 名、就労移行支援 1 名、その他 1 名) ・一般就労 0 名・進学 1 名 (大学) ・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学					

( 児童生徒数：H30.5.1 現在、進路は H30.3 卒業生の状況 )

## 本校の魅力！

【目指す学校像】児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、可能性を伸ばし、保護者・地域から信頼される学校

- 【重点目標】
- 1 児童生徒一人一人を大切に、成長発達を促す学習活動の充実
  - 2 地域とつながり、チームワークを生かした学校づくりの推進
  - 3 健康で安心安全に過ごせる教育環境の整備

- ・一人一人の障害の状況に応じた指導を行う時間「自立活動」に重点をおき、特に本校は肢体不自由の特別支援学校であるので、『こころとからだづくりの学習』に力を入れている。自立活動専任教員の指導の下、担任がマンツーマンの指導も行っている。
- ・合理的配慮としてタブレット端末を利用した ICT・AT に関する教育を推進している。教育的ニーズに応じて、デジタル教科書・デジタル教材を使った授業を行っている。
- ・卒業後地域で生き生きと生活できるために、小学部段階からキャリア教育を行っている。
- ・病弱等で通学が困難な児童生徒のために訪問教育を行っている。
- ・交流及び共同学習・通常学級支援籍・特別支援学校支援籍の取得を進め、多様な学びの場を設定している。
- ・集団生活を通して社会生活を身につけ、基本的な生活習慣等を確立するために寄宿舎が設置されている。



# 県立熊谷特別支援学校



## 本校の 特色

児童生徒一人一人を大切に、成長発達を促す学習活動の充実させます。  
地域とつながり、チームワークを生かした学校づくりを推進します。  
健康で安心安全に過ごせる教育環境の整備します。



## 目指す学校像

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、可能性を伸ばし、保護者・地域から信頼される学校

授業公開等や地域の作品展への参加、ホームページの更新などで本校の教育活動を発信し、地域との連携を深めます。

## 教育目標

家庭

かしこく 心豊かに たくましく

地域

## 小学部

学んだことを生かせる子  
友達と一緒になかよくできる子、最後までがんばる子を育てます。

## 中学部

人の心を思いやり、自分らしく豊かに生活できる生徒、持てる力を発揮し、心身ともにたくましく生きる生徒を育てます。

## 高学部

進んで学習し、よく考える生徒、社会経験を広げ、人との関係を豊かにできる生徒、健康・安全に気をつけ、ねばり強く取り組む生徒を育てます。

## 訪問教育部

生き生きと明るい児童・生徒、楽しく学習に取り組む児童・生徒、心豊かな児童・生徒を育てます。

## 寄宿舍

年齢が異なる集団の中で様々な経験をおし、主体的に生活できる力が身につくように支援します。

## 支援籍学習

通常学級支援籍、特別支援学校支援籍の指導支援の充実に努め、多様な学び場を提供します。



## ICTの活用

子ども達によさや優れた力を認め、伸ばすための支援や指導を推進します。



## センター的機能

就学前施設・保育園・小中高等学校等の要請に応じた支援など、地域のセンター的機能を充実します。

どの子も卒業後、地域で生き生きと生活できるように、小学部段階からキャリア教育を進めています。